

看護だより

KANAGAWA

Vol.188

2019年9月



公益社団法人
神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901代 FAX.045-263-2905
<https://www.kana-kango.or.jp/>

2019年度 会員数 35,541人

(2019年7月29日現在)



患者支援センター「住み慣れた地域で暮らすために退院後の生活を一緒に考えます」



多職種カンファレンス
「多職種協働 チーム医療で支えます!」



手術部
「ハイブリッド手術室を含め8室稼働しています」



先輩が丁寧に教えてくれます



健康回復へのお手伝いに専門職としての助言が役立ちます



【今月の表紙】

厚木市立病院

→施設の紹介は24ページに掲載しています



ICU・CCU
「高度急性期看護はお任せください!」

◀病院の全景
「2018年グランドオープン(^^)」

CONTENTS

- ◆健康ひろば
加速する「ネット依存」……………2～3
- ◆スペシャリストが行く
「皮膚・排泄ケア認定看護師」……4
- ◆目からウロコのお役立ち情報
「変形性膝(ひざ)関節炎」……………5
- ◆特集「ユマニチュードを実践しています」
……………6～7
- ◆ご存知ですか?「会員特典」…………8
- ◆令和元年度 通常総会開催報告 ……9
- ◆令和元年度 役員・委員名簿 ……10
- ◆平成30年度 事業報告/貸借対照表/正味
財産増減計算書/財産目録… 11～23
- ◆こんにちは事務局です/
表紙の写真/編集後記……………24

加速する「ネット依存」

2018年8月、厚生労働省は、病的なインターネット依存が疑われる中高生が**93万人**に上るという推計を発表しました（「中高生のネット依存の実態調査」による）。これは5年前の調査の倍にも及ぶ数です。ネット依存が急速にWHOが「ゲーム障害」を「国際疾病分類（ICD-11）」に収載することとし、に認められたことで、予防対策や適切な治療を求める声がさらに強まること（TIAR）を開設し治療に取り組んでいます。



久里浜医療センター
看護師長 日高 浄子

ネット依存とは？

インターネットの利用をやめたくてもやめられない状態をいいます。「ネット依存」の大きな割合を占める「ゲーム障害」は、日常生活に支障が出てゲームを優先する状態が12カ月以上みられる場合で、症状が重い場合はより短期で診断できるとされています。

なぜネット依存が急激に増えているのか？

学歴だけでは将来の保障がされない、ゴールが見えない不安。スマートフォンの普及による SNS での人間関係の煩わしさ、多大なストレス社会。大人も子どもも息抜きを求め、手軽に楽しめるゲームやスマートフォンにのめりこむケースが増えています。また、課金で有利になるなど、ギャンブル性が高いこともゲームから離れなくなる要因と言えます。

健康と依存のちがいは？

注意されてやめられるなら健康。やめたくてもやめられないのが依存。依存の人はネットやゲームをやり過ぎているのに、自分自身を止められず、問題の存在や周りからの指摘を否認する傾向にあります。その境界線は曖昧な部分もありますが、依存症の場合、生活が破綻し健康障害や学業などをはじめとしたさまざまな問題が生じてきます。

「ネット依存」が引き起こす様々な問題

心身への影響

ネット依存やゲーム依存が長く続くと、食事や睡眠などが不規則となります。「眠らない」「食べない」「動かない」ことで、筋力低下、骨粗鬆症、発育異常、頭痛、吐き気、倦怠感、視力の低下など「体調の乱れ」が出てきます。またイライラ、攻撃性、意欲・関心の低下といった「精神的な乱れ」も生じてきます。

画像でわかる脳への影響

ネット依存・ゲーム依存の人の脳は画像検査で機能のバランスが崩れていることがわかります。神経伝達物質ドーパミンの受容体が減り、快楽などを感じにくくなり、前頭前野の機能低下により、衝動など感情のコントロールが難しくなっています。

社会生活への影響

1日1食のような食事の乱れ、不眠・昼夜逆転などの睡眠の異常、服を着替えない、入浴しないなど衛生面の乱れが生じます。また、ゲームや SNS に熱中している人の多くは、オンラインで新しい人間関係を構築しているので、家庭や学校などオフラインの人間関係が希薄になり、現実の生活よりゲームが優先されてしまいます。その結果、成績低下、遅刻・欠勤、引きこもり、家族や友達との会話が減る、ネットやゲームの話になると嘘をつく、攻撃的な態度・暴言・暴力などの問題が生じてきます。

どんな治療法があるの？

—久里浜医療センターの治療—

まず検査し現状を理解する

外来では、問診の他、身体検査（血液検査・脳画像検査・骨密度・肺機能・運動量など）を行います。身体のダメージを調べて検査結果をデータとして本人と確認しながら少しずつ現状を理解してもらいます。

軽症の場合

外来での医師や心理士とのカウンセリングが中心になります。

ある程度症状が進んでいる場合

「NIP=New Identity Program（新しい自分を見つけるプログラム）」など、久里浜医療センターの専門的治療プログラムを提供します。

重症の場合

入院治療（約2カ月程度）になります。健康面や金銭面でコントロールできなくなっている患者さんが対象です。入院中は携帯電話やスマホのない生活となります。

入院生活の中で —看護として行うこと—

進む低年齢化

昨年度、当院のインターネット依存症で入院した方は年間35名、14～15歳が最も多い年齢でした。そして入院は男性が多いのも特徴です。

まず、声かけから始め、信頼関係を築く

2カ月の入院は決して短いものではありません。思春期である、中学・高校などの大切な時期を入院することになります。集団生活になじめない、コミュニケーションが苦手なお子さんも多く、看護師はあせらず個を大切にします。挨拶や返事がなくても「困ったことがあったらいつでもナースステーションに来てね」と声をかけることから入院生活が始まります。見守り、個別性に合わせた声かけなどを行い、徐々に信頼関係を構築していきます。

規則正しい生活を取り戻す

朝起きることができない、入浴をしづらくしていない、食事がとれていなかった子どもたちに規則正しい生活を送るよう支援します。現実の生活を楽しみながら、今後の生活や学業の方向性などを一緒に考えていきます。

終わりに

ネット依存は家族が最初に気づくことも多いようです。当院では家族だけでの受診も行っております。また、家族会や家族ワークショップという形で家族をサポートしています。近年ネット依存は低年齢化、重症化が進み、治療にも時間がかかると言われています。しかし、ご家族の思いは必ず、お子さんたちに伝わる日が来ると思います。

時代の変化とともに向き合うべく私たちも最新の治療に向けて看護に励んでいきたいと思っています。



皮膚・排泄ケア認定看護師

その人の思いを大切に、
より安楽な生活を送れる
ことを目指して



横須賀共済病院
皮膚・排泄ケア認定看護師 慶 貴子

資格取得を目指したきっかけ

勤務していた消化器内科病棟で、腸炎で下痢が頻回な患者さんと出会いました。下痢による臀部のびらんが悪化し苦痛を訴える患者さんに対し、改善方法を見いだせずにいた私は、院内の皮膚・排泄ケア認定看護師（Wound Ostomy Continence Nurse、以下WOCN）に相談しました。WOCNの的確なアドバイスによりびらは次第に改善することができ、患者さんに笑顔が戻りました。そのWOCNの実践を見て、自分も患者さんの苦痛を軽減できるような実践力を身につけたいと思い資格取得を目指しました。

現在の活動

院内では、褥瘡対策の専従として褥瘡に関連する業務を中心に活動しています。可能な限りベッドサイドへ足を運び、スタッフと一緒にケアを考え、WOCNの持つ知識や技術を伝えるようにしています。また、一人でも多くのスタッフに褥瘡ケアを学び実践に活かして欲しいという思いから、スキルアップコースを開始しました。さらに、地域のWOCNなどとともに「横須賀地区排泄研究会」を立ち上げました。これは、排泄の自立は介護負担の軽減や患者にとって安心して安楽に過ごすための重要な要素であることを痛感したためです。看護・介護問わず、排泄ケアに関する知識・技術・意識を高め、地域の人々に貢献したいと考えています。参加者は看護師のみならず介護職やケアマネージャーなど多職種となっており、情報交換や交流の場として私自身の学びにもなっています。

スペシャリストとしての思い

認定看護師として研修や研究会で多くの人へ様々なテーマを持って話中で、もっと深く論理的思考力を身につけ、他者へ効果的に伝えることを学びたいと考え大学院（基礎看護学課程）に進学しました。今は患者さんそれぞれの創傷や失禁管理において、いかに苦痛を軽減し安楽な日々が送れるかを考えWOCNとしてケアを提案し、患者さんやご家族に喜んでいただいた時、とてもやりがいを感じています。一人一人の生活背景や思いを大切に、その人がその人らしく住み慣れた地域で安心して生活ができるために、今後も地域とつなぐ看護に関わっていければと考えています。



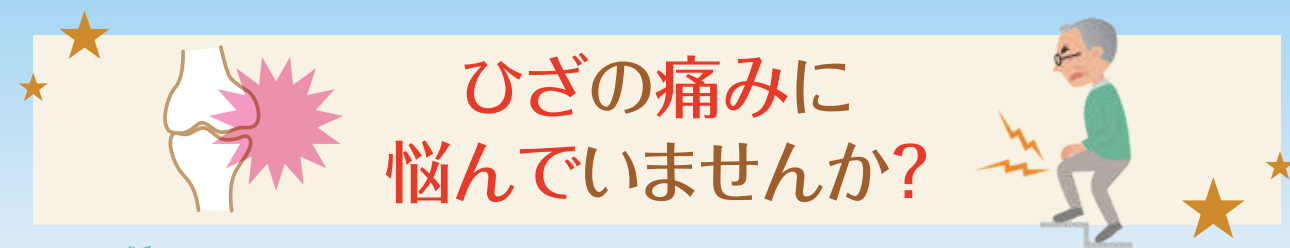
院内の褥瘡チームのカンファレンスの様子

目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは…

変形性膝関節症

このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。今回は、「変形性膝関節症」について、湘陽かしわ台病院 整形外科 山森寛之先生に解説していただきました。



変形性膝関節症とは

変形性膝関節症とは、加齢や体重などの負担により膝関節のクッションである軟骨がすり減ることで、関節が変形し痛みを生じる病気です。50代以降の中老年の方に多い病気です。変形や痛みがひどくなると歩くことが困難になる場合もあります。

どんな症状？

初期段階では痛みも軽度で、立ち上がりや、寝起きの一歩が痛いなど、一時的な痛みや違和感である場合がほとんどです。病気が進行するにつれ、少しずつ痛みが強くなり、痛みを感じる時間も長くなっていきます。動作時の痛みを自覚するようになり、階段の上り下りや、正座や床にしゃがみこむ動作が苦痛になっていきます。関節が炎症を起こし、水（関節液）がたまる場合もあります。

さらに進行すると、安静時の痛みや、ひざの動きが悪くなり、歩行が困難になります。

動作がづらいため外出しづらくなると体力の低下を招き、不眠やうつ症状が現れる場合もあります。

治療法は？

治療は主に二つの治療がありますが、まずは保存治療を開始します。

1 保存治療

消炎鎮痛剤や湿布 ヒアルロン酸を関節内に注射する薬物治療を行い関節内の炎症を抑えます。

サポーターやインソール（足底板）を装着したり、膝関節周囲の筋力を保つためにトレーニングを行い、症状の悪化や進行を遅らせます。筋肉を鍛える事で関節が安定します。

2 手術治療

ひざの痛みが強くなったり、症状が悪化した場合に手術治療を検討します。

<内視鏡を用いた手術> 損傷した一部の軟骨や半月板の修復を行います。

<骨切り術> 脛骨の一部を切って矯正します。

<人工関節置換> 傷んだ関節の表面を取り除き、人工の関節に取り換える方法です。人工関節は一般的に耐用年数が25～30年とされていますので、60代後半から70代の方が選択される事が多いです。今後、再生医療への期待も大きく、研究も盛んに行われています。

予防法（日常生活における注意点）

- 膝関節への負担を和らげるためにも、膝周囲、特に太腿の筋肉を鍛えましょう。
- 過度な体重増加や肥満予防の為に、バランスの良い食事を心掛けましょう。
- 正座や深くしゃがみ込む動作は、関節に過度な負担がかかる為、なるべく避けましょう。
- ひざの痛みがない時はウォーキングやプールでの水中歩行、体操などの全身運動を適度に行い、身体の健康を保ちましょう。

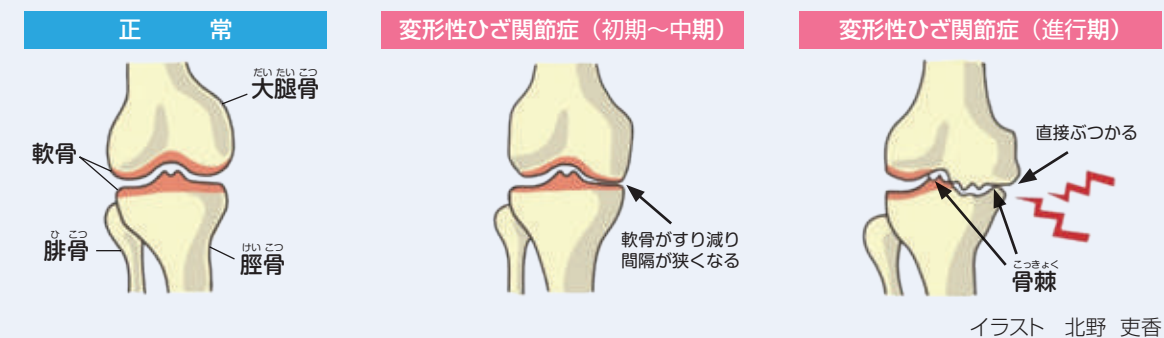


イラスト 北野 史香

“心をつなぐケア” ユマニチュード®^{※1)}を 実践しています！



神奈川県立足柄上病院
看護師 城所 かよ子

ユマニチュード®とは

ユマニチュードは、フランス語で「人間らしさ」を意味し、イヴ・ジネスト氏とロゼット・マレスコッティ氏が考案しました。「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの技法を用いて、「わたしはあなたのことを大切に思っています」ということを伝えるケアです。わたしたち看護師は、普段から患者さんを見たり、話したり、触れていますが、ただ「見る」だけでは、患者さんを大切に思っていて関わっていても自分の思いは伝わりづらく、もしかするとネガティブなイメージを伝えているかもしれません。ユマニチュードを学ぶことで、患者さんとのかわりは変化します。例えば、わたしたちが赤ちゃんに関わる場面のことを想像します。わたしたちは自然に「近くで正面から長く見ること」「ゆっくり穏やかに低いトーンで歌うようにポジティブな言葉を話すこと」「優しくつかまらずゆっくり広い面積で触れること」をしています。それらを高齢者や認知症患者など、どんな相手に対しても行います。また、対象の状態に合わせて、出会いから次に会う約束までを順序立てて行うことで、対象が「この人は私を大切に思ってくれている」と感じることができるようにすることが、ユマニチュードの特徴です。



ユマニチュード実践場面～見つめる・触れる～

ユマニチュード®との出会い

わたしは看護師として患者さんとの関わりに経験を積み、自信が持てるようになりました。しかし、認知症のある患者さんが声掛けに対して反応がない時やケアを拒否された時などには、どのように対応すればいいのか悩み、落ち込むことがありました。そんなとき職場の先輩から2日間のユマニチュード入門コースの受講をすすめられ、研修を受けました。研修の中で、ユマニチュードとは対象となるヒトとの絆をつなぐケアであり、その技法を用いることで対象の反応が変わるということに衝撃を受けました。そして「害を与えるケア」があることを知りました。例えばケアをするときに患者さんの腕を掴んで持ち上げることや、患者さんと視線を合わせないこと、必要だからと夜間に患者さんを起こしておむつ交換を行うことなど、何気なく行っていることが実は患者さんの行動を抑制したり、ネガティブな感情を与える害のあるケアだったかもしれないとハッとしました。もっとユマニチュードについて学びたいと思い、2016年に10日間の施設導入準備コースを受講しました。研修を受けて、自分の病院でもユマニチュードを実践していきたいと考えました。

病棟での取り組み

～見つめることや触れることで優しさを伝える～

ユマニチュードを意識して患者さんに関わっていく中で、それまであまり話してくれなかった患者さんの笑顔が増え、たくさん話をしてくれたり、車椅子に乗ることを嫌がっていた患者さんが、誘導を繰り返すと車椅子に乗ることができた事例を経験しました。認知症があり会話を理解できない患者さんでも、触れる手や見つめることから優しさが伝わり、笑顔を見せてくれることが増えました。患者さんに良い変化が生まれると、私も嬉しくなり、もっと相手に何かしてあげたい、もっと相手のことを知りたいと思うようになり、患者さんと向き合う時間が増えたと感じます。

また、わたしは今、地域包括ケア病棟で働いており、自宅へ退院する患者さんを支援するという場面が多くあります。病気を持ちながら自宅で生活するという不安を抱えている患者さんやその家族に対しても、ユマニチュードを用いて寄り添うことで、相手との関係性の構築の手助けになると感じています。



今後の課題

ユマニチュードの技術は学んで繰り返し訓練することが必要です。わたしも未だに不十分さを感じているため、日々実践し、患者さんの反応を見ながら技術の向上に努めていきたいです。また、スタッフには自分自身の関わりによって患者さんに良い変化が生まれることを実感してもらえよう、ユマニチュードを共に学んだ医師と、全スタッフに向けた勉強会を開催し、医療チーム全体がユマニチュードを実践できるように活動をしていきたいです。

※1) HUMANITUDE およびユマニチュードの名称およびそのロゴは、日本およびその他の国における仏国 SAS Humanitude 社の商標または登録商標です。



ユマニチュードを用いたケア方法を演習している様子

神奈川県看護協会「指定店」 会員限定の割引特典があります！

ご存じ
ですか？

神奈川県看護協会ホームページ
入会案内・会員専用ページからログイン！



下記の 카테고리ごとに、約160店舗と提携しています。

百貨店	総合建築営繕工事	葬儀
ホテル・レストラン	スポーツ用品類	斎場
金融・保険	神仏具	墓地・墓石工事
時計・眼鏡・貴金属	自動車用品類	育児支援施設
寝具類	結婚式場・貸衣装	結婚情報サービス
住宅販売・建築	畳の張替	カルチャーセンター
住宅設備機器	襖の張替	音楽・演劇

利用方法は、「会員証」提示でOK！紛失の場合は、再発行手続きをいたします。
また、キャリアナースの登録で「電子会員証」の提示でもOK！



会員優待を受けられる企業（一部）



令和元（2019）年度通常総会開催

“人生100年時代、看護職が生き生きと
働くために新たな課題に取り組む”



挨拶する花井会長

去る6月21日（金）県総合医療会館
7階講堂において、令和元（2019）年
度通常総会が開催されました。

令和元年6月1日現在の総会員数は
34,444名、委任状27,827名で参加者
数は219名でした。

花井会長挨拶の後、県看護協会会長表
彰・授与式、続いて、看護研究奨励賞表彰・授与式が行われ、
それぞれ13名と3名の方々が表彰されました。

平成30年度事業報告、令和元年度重点事業及び事業計画、令
和元年度収支予算の報告に続いて、第一号議案「定款の一部改
正（案）」の審議が行われ、採決の結果、満場一致で承認されま
した。

第二号議案では「平成30年度決算（案）及び
監査報告」の審議が行われ、採決の結果、満場
一致で承認されました。

質疑応答では「行政か
らの補助金が減っている
理由を伺いたい」との質



県看護協会会長表彰受賞の方々



問があり、これに対して「教育アドバイザー事業が定着し、対
象を小規模施設に限定して派遣するようになったためである」
という回答がありました。第三号議案では「令和元年度役員の
選出」が行われ、投票の結果、候補者13名全員が選任されま
した。臨時理事会を経て、花井会長、渡邊専務理事、尾花常務
理事、渡部副会長、長野副会長、米倉保健師職能理事、横田看
護師職能理事Ⅰ、平田看護師職能理事Ⅱ、金子准看護師理事、
本館川崎支部理事、渡辺相模原支部理事、本谷湘南支部理事、
鈴木監事が選定されました。

なお、令和元年度役員・委員の紹介は本誌 P10に、平成30
年度事業報告・決算報告は P11 ～ 23に掲載しておりますので、
ご参照ください。

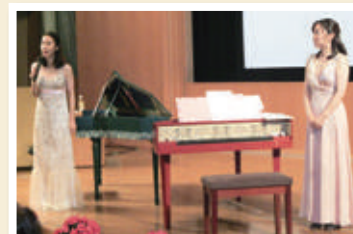
演奏会

「小さなチェンバロ スピネット デュオコンサート」

演奏：中村恵美 & 及川れいね

ステージ上には、グランドピアノを小さくしたような、赤
と緑の可愛い楽器が用意され、弦楽器にも似た繊細で軽
やかな音とともにコンサートは始まりました。

中村恵美さんと及川れいねさんによる「小さなチェンバロ
スピネットデュオコンサート」が開かれ「きらきら星変奏曲」
「バッハのラルゴ」「愛燦々」「Lemon」など全6曲が披露されま
した。チェンバロは、バッハが活躍したバロック時代の楽器で、
鍵盤を叩くと小さな爪のついた木が上がり、弦をはじいて音
を出す撥弦楽器です。スピネットとはチェンバロを小型にし
たものの総称で、コンサートに用意された二台とも80年代に日
本で作られたものだそうです。



演奏者の中村さんと及川さん

会場ではスピネット
の音色に合わせて自然
と体が揺れ、皆表情が
穏やかになっていまし
た。日頃の激務による
疲れを癒し、素敵なひ
と時を過ごすことがで
きました。

（広報出版委員会 伊藤美保）

講演会

「多職種連携

～多様な人材を活かす戦略とは～



講師の松村啓史氏

講師：テルモ株式会社 松村 啓史 氏

松村氏は「看護部が変われば病院は変
わる」「ナイチンゲールに学ぶときめき
の経営学」など多数の著書を執筆され
ています。先日は、ロンドンにあるセン
トトーマス病院で、ナイチンゲール生誕
200周年記念の講演をされたそうです。今回は、ダイバシティ
マネジメントについてご講演をいただきました。

多様な人材を活かすには「全員が主役で脇役＝上機嫌」「柔
軟な頭と心」「元気な体と心」「リーダーシップ＋メンバー
シップ」「威厳より愛嬌」「めっちゃ元気な高齢者」「障害者は『チャ
レンジャー』」「グローバル」「性差」「楽しさ発見！」「死生観」な
どがキーワードとなり、他人の能力を発見する能力があるか
どうか真の鍵であると説かれました。その中で特に「表情
は記憶に残り、笑顔が印象を変える」「リーダーシップの本質
は愛想と愛嬌」という言葉は印象的で、組織が発展していく
にはとても大切であることを再認識しました。

常に笑いを交えながらの講演で、楽しく学べ、とても貴重
な時間を過ごしました。「ダイバシティは笑顔から始まる」こ
とを心に刻みながら、これからも看護に携わっていきたく
感じる一日でした。（広報出版委員会 眞輪有美子）

令和元年度 役員紹介

※（再）＝再任 （新）＝新任



令和元年度 委員会名簿

職能委員会 ●保健師職能委員会 米倉 睦弥 (保) 森田 佳重 (保) 椎葉 桂子 (保) 小田 真智子 (保) 加藤 晶子 (保) 岡田 明美 (保) 松坂 由香里 (保) 小坂 百合子 (保) 小澤 美穂子 (保) ●助産師職能委員会 佐藤 良枝 (助) 川邊 康美 (助) 中村 綾美 (助) 鍋倉 智幸 (助) 長見 祐子 (助) 山下 聖子 (助) 藤谷 直子 (助) 鈴木 千秋 (助) ●看護師職能委員会Ⅰ 横田 弘希 (看) 小林 希子 (看) 小伊 佐香 (看) 阪本 まり子 (看) 豊田 佳子 (看) 西野 隆一 (看) 小林 理恵子 (看) 小林 貞子 (看) 小増 田正和 (看) 中野 日亜沙美 (看) 石橋 成子 (看) ●看護師職能委員会Ⅱ 平田 祐子 (看) 河村 朋子 (看) 高橋 祐子 (看) 藤田 佳代子 (看) 池田 恵理 (看) 小松 村園 (看) 小松 真子 (看) 大森 基美 (看)	田嶋 まさ子 (看) 時田 美恵 (看) 坂下 聖加子 (看) ●横浜北支部 原山 久美子 (看) 大平 久佳子 (看) 江川 麗子 (看) 佐田 里奈子 (看) 早々 貴志 (看) 横尾 志 (看) ●横浜西支部 古澤 壽子 (看) 外田 佳子 (看) 齋藤 理恵子 (看) 齋藤 華子 (看) 岸小 春 (看) 高沢 明子 (看) 鈴木 裕子 (助) ●横浜南支部 濱崎 登代子 (看) 井出 ひとみ (看) 小須 藤子 (看) 福家 修子 (看) 羽根 貴子 (看) ●横須賀支部 嘉山 静子 (看) 中川 美和 (看) 楠川 歌織 (看) 村佳 奈美 (看) 吉部 美加子 (看) 嶋海 理智子 (看) 石江 美佐子 (看) 二本 木子 (看) 新倉 明子 (保) ●相模原支部 渡辺 加代子 (看) 谷和 子 (看) 串谷 有希子 (看) 串田 聡子 (看) 熊川 晶子 (看) 熊尾 枝子 (看) 長澤 静代子 (保) 井上 いづみ (看) ●小田原支部 加藤 節子 (看) 大村 里枝 (看) 畑中 健二 (看)	戸村 静香 (看) 加藤 裕美 (保) 坂下 由紀乃 (看) 本里 美子 (看) 落合 佑三子 (保) ●湘南支部 本谷 菜穂子 (看) 本潤 子 (看) 稲村 ぼづみ (看) 稲谷 真里子 (看) 佐藤 文子 (看) 日笠 山純子 (看) 尾上 幸子 (看) 宮崎 晃子 (保) ●県央支部 飯塚 真弓 (看) 谷辺 美加子 (看) 渡藤 恵子 (看) 森田 郁子 (看) 梅津 裕子 (看) 須崎 和恵子 (看) 山田 佳江 (保) ●常任委員会 ●推薦委員会 大川 由美子 (看) 清水 友見 (看) 高野 恵子 (看) 阿部 愉貴子 (看) 曾我 利江 (保) 渡辺 美和 (看) 小原 澄子 (看) 東海林 ちえみ (看) ●社会経済福祉委員会 姜由 紀子 (看) 澁谷 勲子 (看) 奥山 洋子 (看) 西館 綾子 (看) 川島 久江 (看) 門馬 ひとみ (保) 相川 依子 (看) 松本文子 (看) ●教育研修委員会 西崎 恵利子 (看) 嶋澤 美和子 (看) 鳴田 美恵子 (看) 一色 はじめ (看) 川口 真澄 (看) 川延 千恵 (看)	後藤 明美 (看) 藤田 初美子 (看) 進藤 厚子 (看) 杉崎 安代子 (看) 角井 ゆかり (看) 中倫 子 (看) 長嶋 みゆき (助) 中村 博子 (看) 樋口 真弓 (看) 本鍋 由美子 (看) 山本 江身子 (看) 古岡 千恵子 (看) ●広報出版委員会 柿澤 文子 (看) 井出 弥生 (看) 奥川 桂子 (看) 面田 利文 (看) 貫輪 有美子 (看) 伊藤 美保子 (看) 坂本 宏子 (看) 島村 まゆみ (看) 鈴木 宣子 (保) 矢後 さとみ (看) ●業務委員会 浅見 京子 (看) ヒグソン 弘美 (看) 熊倉 恵子 (看) 竹内 香子 (看) 北林 由葉 (保) 菅原 行弘 (看) 袖山 亜美 (看) 吉原 利栄 (看) ●会員委員会 伊藤 弘子 (保) 瀬川 千恵子 (看) 益田 幸代子 (看) 松智 子 (看) 大野 木子 (看) 藤本 浩子 (看) 和田 恵子 (看) ●医療安全対策委員会 三上 久美子 (看) 新村 美佐子 (看) 堀田 まゆみ (助) 安齋 英恵子 (看) 大原 志歩子 (看) 鹿内 由佳子 (看) 柴田 淑子 (看) 吉井 涼子 (看) ●災害救護対策委員会 原 美智子 (看)	石田 智子 (助) 西藤 弘子 (看) 重松 美智子 (保) 長島 良江 (看) 西坂 利奈子 (看) 三浦 友也 (看) 松尾 直美 (看) ●神奈川看護学会運営委員会 尾花 由美子 (看) 渡部 節子 (助) 上田 邦枝 (助) 香取 洋子 (助) 金井 Pak 雅子 (看) 杉山 恵子 (看) 高橋 花子 (看) 多田 真太郎 (看) 名倉 順子 (看) 新田 一美 (看) 横山 亜矢 (看) ●准看護師教育検討委員会 津江 優紀 (看) 長文 枝子 (看) 櫻田 文薫 (看) セホ 佳子 (看) 高梨 明子 (看) 二宮 昭子 (准) 金子 友美 (准)	その他の会議等 ●財政会議 渡邊 二治子 (看) 渡部 節子 (助) 高橋 恵子 (看) 矢野 敏行 (事務) ●看護研究倫理審査会 花井 恵子 (看) 渡邊 二治子 (看) 尾花 由美子 (看) 長場 直子 (看) 白水 真理子 (看) 勝山 貴美子 (看) ●認定看護管理者教育運営会議 藤波 富美子 (助) 高橋 恵子 (看) 小池 智子 (看) 澤邊 綾子 (看) 西野 恵美子 (看) 山岡 澄代子 (看) 門花 由美子 (看) 尾根 道枝 (看) 井手尾 千代美 (看) 田中 順子 (看)
--	---	---	---	--	---



平成 30（2018）年度事業報告

重点事業

- 地域包括ケアシステム推進に携わる看護職の資質向上とその支援
 - 病院から地域への円滑な移行を進めるための看護職員研修の充実
 - 地域看護領域で働く看護職の資質向上に向けた研修の充実
 - 地域包括ケアシステム推進に向けた多職種連携の支援
- 看護職の職場環境の改善への支援と就業支援
 - 職場環境改善に向け、管理者を対象とした研修の充実
 - 就職情報の充実と就業支援の促進
- 時代のニーズに対応した継続教育の充実
 - 質の高い看護実践を推進する看護管理者研修の充実
 - 小規模施設で働く看護職員・管理者研修の充実
- 災害時対策の充実
 - 災害看護研修の充実
 - 災害支援ナースの育成の推進
 - 災害支援に関わる関係機関等との連携強化と対応訓練の充実

Ⅰ 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第1項第1号 公益目的事業）

事業実施内容
1 県民に対する看護の普及活動 - 看護週間行事 - 看護フェスティバルの開催 平成30年5月12日（土）みなとみらいクイーンズサークル 参加者数 延1,963名 ・生活習慣病対策（血管年齢・脳年齢等の測定） ・健康相談 ・看護師等になるための進路相談 「一日看護体験」事業 実施期間 平成30年5月1日～8月31日 参加者数 6,624名 県内病院等実施施設 166施設 - 県民に対する広報活動の強化 - 広報出版委員会の開催 定例会年12回 「KANAGAWA 看護だより」の発行 年6回 計213,400部発行 配布先；病院等施設、市町、図書館等及びホームページ掲載 - ホームページの充実・利用の促進 アクセス数 年178,093件 - 県民のための健康相談及び知識の普及 - 健康相談事業の充実 ・支部及び協会訪問看護ステーションの「まちの保健室」活動支援

事業実施内容		
活動支部	川崎支部、横浜北支部、横浜西支部、横須賀支部、相模原支部、県央支部	
【支部活動報告参照】		
県看護協会訪問看護ステーション	年 1 回	×4 事業所
2) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発		
・県民及び看護職を対象とした禁煙の推進		
「スモークフリー推進かながわ基金」への拠出及び禁煙に関する委員会への参加		
3) 県内の医療職に対する緊急情報の周知		
・トピックス研修 年 3 回		
テーマ「賃金体系モデルで看護のキャリアは変わる		
～仕事と生活の充実をめざして（導入編）～」		
平成 31 年 1 月 18 日（金） 受講者 72 名		
テーマ「看護師特定行為研修制度の概要と修了者の活動」		
平成 31 年 2 月 7 日（木） 受講者 63 名		
テーマ「【衛星通信研修】‘18 看護必要度ステップアップ研修」		
平成 31 年 2 月 24 日（日） 受講者 166 名		
・緊急情報のホームページへの掲載（随時）		
4) 次世代育成対策の普及		
・看護実践教育アドバイザー派遣		
派遣対象施設；看護学生の実習受入施設（199 床以下の病院及び看護職員が少ない福祉施設）		
アドバイザー 6 名、派遣実績 6 施設、新規実習受入相談施設 6 施設		

Ⅱ 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業（定款第 4 条第 1 項第 2 号 公益目的事業）

事業実施内容			
1 訪問看護及び居宅介護支援事業			
1) 訪問看護事業			
医師等との連携による療養支援、夜間・休日における緊急時の相談及び訪問、適切なケアと家族等への支援			
・訪問看護ステーション所長会議 年 11 回、事務職員会議 年 2 回			
・訪問実績			
	かがやき訪問看護ステーション（藤沢市）	13,064 件	
	あかしあ訪問看護ステーション（茅ヶ崎市）	6,492 件	
	おおいそ訪問看護ステーション（大磯町）	6,308 件	
	洋光台訪問看護ステーション（横浜市）	8,435 件	
	合計	34,299 件	
2) 居宅介護支援事業			
要介護状態の人々が自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成及び相談支援			
・ケアプラン作成実績			
	かがやき訪問看護ステーション	351 件	
	おおいそ訪問看護ステーション	646 件	
	合計	997 件	
3) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価			
・利用者満足度調査 年 1 回			
・介護サービス情報公表にかかる事業所自己評価 年 1 回			

事業実施内容		
4) 地域への活動		
・退院調整のための病院訪問（地域連携室等）		
	各訪問看護ステーション	月 2 回/年 24 回
・訪問看護ステーションの普及・啓発活動		
	各訪問看護ステーションパンフレット作成	
広報活動（広報誌、地域住民向け健康講座、SNS 等の利用）		
・訪問看護ステーション教育支援（県補助）		
	同行訪問研修	
	新任または経験の少ない訪問看護師への研修	
	教育担当者への研修	
5) 看護職員等の資質の向上		
（1）訪問看護ステーション内研修		
	訪問看護に関する情報共有、勉強会等	各訪問看護ステーション 月 2～4 回
（2）事例検討会		
	困難ケース等についての検討会	各訪問看護ステーション 年 3 回
（3）研修への参加		
	訪問看護ステーション	年 2 回
6) 看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援		
・看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等の受け入れ 延 150 名/4 ステーション		
7) 関係機関との連携		
	関係団体との連携及び会議等への参加	各訪問看護ステーション 年 10 回

Ⅲ 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業（定款第 4 条第 1 項第 3 号 公益目的事業）

事業実施内容		
1 看護における医療安全体制強化のための支援		
1) 医療安全情報収集・情報発信		
・医療安全情報検討ワーキング 年 9 回		
・「医療安全情報」発行 年 3 回 4,500 部 配布先 病院等施設		
2) 医療介護福祉従事者への意識啓発		
	講演会	テーマ「病院でも身体拘束ゼロは実現できる」
	平成 31 年 2 月 1 日（金）	受講者 255 名
3) 医療安全管理者養成研修修了者への活動支援		
・医療安全管理者情報交換と啓発活動		
	交流会	年 11 回（講演会 1 回含む）
4) 関連団体との連携推進		
（1）日本看護協会との連携		
（2）神奈川県 6 団体による医療安全推進会議及びセミナーへの参加		
	会議	年 1 回、 セミナー 年 1 回
5) 医療安全に関する相談・情報提供		
・医療事故に関係した看護職への支援、相談対応		
・医療事故防止対策に関する広報		
・「医療安全情報」のホームページ掲載		
・医療安全推進週間の広報（11 月 25 日含む前後 1 週間）		
6) 小規模施設の感染予防対策の充実		

事業実施内容			
	・認定看護師による出張相談	1 件	
2	災害時の看護支援活動の強化と普及		
1)	関連団体との連携推進		
(1)	日本看護協会との連携推進		
	・日本看護協会災害担当者会議	年 1 回	
	・都道府県看護協会災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加	年 1 回	3 日
(2)	県・市合同総合防災訓練への参加		
	・県市合同総合防災訓練会議	年 2 回	
	・県市合同総合防災訓練	年 1 回	
(3)	県内関連施設との連携		
	・県内関連施設との防災訓練	年 1 回	3 日
(4)	横浜市災害看護研修	年 2 回	延べ 2 日 延べ受講者 116 名
2)	災害支援ナースの派遣		
	・神奈川県及び（公社）日本看護協会の要請に基づく災害支援ナースの派遣準備		
3)	災害への備え・広報活動		
(1)	災害救護対策委員会の開催	定例会年 9 回、研修会 1 回	
(2)	災害発生時のマニュアル整備		
	・災害時受援マニュアルの検討		
	・災害支援ナース携帯物品の整備（6 セット）		
(3)	災害看護研修の支援		
	・インターネット配信研修（災害支援ナースの基礎知識）年 2 回 各 2 日		
	第 1 回	受講者 122 名、第 2 回	受講者 86 名
	・災害看護マネジメント研修 2 日 受講者 50 名		
	・災害支援ナース育成研修（災害看護実務編）年 2 回 各 2 日		
	第 1 回	受講者 55 名、第 2 回	受講者 41 名
(4)	災害支援ナース登録推進		
	・募集ポスター作成 2,000 部		
	・災害支援ナースフォローアップ研修	平成 30 年 5 月 11 日（金）	受講者 76 名
	対象者 災害支援ナース登録者		
(5)	県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発		
	・県、市合同防災訓練及び看護フェスティバル等でリーフレット配布、デモンストレーション		

Ⅳ 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業（定款第 4 条第 1 項第 4 号 公益目的事業）

事業実施内容			
1	看護職の資質向上の支援		
1)	継続教育の推進		
(1)	看護実践力向上研修	年 33 回	延 43 日 延受講者 3,065 名
	看護共通分野、看護専門分野、態度・感性を磨く研修		
(2)	看護安全力向上研修	年 3 回	3 日 延受講者 348 名
(3)	看護管理研修	年 6 回	8 日 延受講者 466 名
(4)	小規模病院に勤務する看護職員研修（対象：新人看護師）	年 7 回	7 日 受講者 8 名
(5)	小規模病院に勤務する看護職員研修（対象：中堅看護師）	年 7 回	9 日 受講者 8 名

事業実施内容			
(6) 小規模病院に勤務する看護職員研修（対象：看護管理者） 年 7 回 10 日 受講者 6 名			
(7) 研修運営事業			
・「教育計画」タブロイド判作成 48,000 部			
・教育事業実施報告書作成 1,320 部			
・次年度教育計画・事業説明会 平成 31 年 2 月 27 日（水） 参加者 98 名			
(8) オープンセミナー			
病院等施設などで企画した研修を県下の看護職に公開			
実施施設 32 施設 延 294 研修 参加者 1,538 名			
2) 新人看護職員研修の充実			
(1) がんばれ！新人ナース!! 1 日 受講者 664 名			
(2) 新人看護職員研修責任者研修 3 日 受講者 68 名			
3) 支部との連携研修 1 日 受講者 94 名（横浜西支部との連携）			
4) 看護研究の充実			
(1) 神奈川看護学会の開催			
平成 30 年 12 月 1 日（土） パシフィコ横浜アネックスホール 参加者 729 名			
・運営委員会 定例会年 4 回			
・査読会議 年 1 回			
・看護研究奨励賞選考会議 年 1 回			
(2) 看護研究推進支援 研究指導講師紹介 2 グループ			
5) 教育企画運営に向けての支援			
(1) 教育研修委員会の開催 定例会年 8 回、委員研修会年 1 回			
(2) 准看護師教育検討委員会の開催 定例会年 5 回、研修会 3 回、進学相談会 1 回			
2 看護職の活動の充実			
1) 職能における研修等 【職能委員会活動報告参照】			
2) 支部における研修等 【支部活動報告参照】			
3) 看護職員の就業環境改善の促進			
(1) 業務委員会の開催 定例会年 12 回、研修会年 1 回			
(2) 社会経済福祉委員会の開催 定例会年 12 回、研修会年 1 回			
3 地域看護の推進と拡充			
1) 地域看護の質向上と推進			
(1) 訪問看護の推進			
訪問看護ステーション一覧の作成 2,000 部			
配布先；訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載			
(2) 「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置			
訪問看護等に関する相談、助言 週 1 回 年 188 件			
2) 地域看護の質向上に関する研修			
(1) 地域看護における看護職員の育成			
・訪問看護入門研修会 年 5 回 2 日 受講者延 187 名			
・訪問看護師養成講習会 年 1 回 30 日 受講者 64 名 公開講座 273 名			
・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 年 1 回 3 日 受講者 92 名			
・地域連携のための相互研修会 年 2 回 3 日 受講者 136 名			

事業実施内容				
(2)	・介護保険施設等看護研修Ⅰ（基礎レベル）	年1回	3日	受講者 67名 公開講座 40名
	・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修（看護学生対象）	年3回		受講者 406名
(2)	地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立			
	・介護保険施設等看護研修Ⅱ（中堅レベル）	年1回	3日	受講者 74名
(2)	・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会			
		年1回	11日	受講者 81名 公開講座 217名
(3)	・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修（看護師対象）	年1回	1日	受講者 51名
	地域看護におけるトップマネジャーの育成			
(3)	・訪問看護ステーション管理者研修会	年2回	1日	受講者延 190名
	・介護保険施設等看護研修Ⅲ（管理レベル）	年1回	3日	受講者 64名

V 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業（定款第4条第1項第5号 公益目的事業）

事業実施内容				
1 看護職員確保定着対策の推進				
1) 看護師等の無料職業紹介事業（本所及び相模原支所）				
(1) 求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供				
求人相談 年 5,541 件、求職相談 年 4,455 件				
(2) 第5次 NCCS の運用				
求人施設の個別支援：訪問 年 52 施設 就職数 年延 457 件				
(3) 相談員の質の向上				
相談員学習会 年 3 回				
2) 届出制度の促進及び支援事業				
(1) 届出制度の普及				
届出数：3,404 人				
(2) 届出者の情報管理				
就職・研修等の情報提供 1 回以上/月				
(3) 届出者の相談及び就業支援				
情報交換会等の交流会 年 1 回				
3) ハローワーク・ナースセンター連携事業				
(1) 労働局・公共職業安定所との連携				
・求人票・求職者の情報交換と支援及び職種別賃金等の情報交換				
・巡回相談の実施				
5 回/月 面談者 106 人				
・運営及び情報共有の会議				
連絡調整会議の開催 年 2 回、求人・求職の情報共有				
・相談会等への相談員の派遣				
連携した相談・見学会の実施 年 9 回				
4) 広報活動及び情報提供事業				
(1) 「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布				
未就業看護職・施設への配布 11,468 部				
(2) 看護学生・教員への周知				
・看護学生のつどいでの事業案内 3 回				
・卒業年度学生へ「はたさば」配布				
(3) 年報の発行				
200 部 配布先；行政機関等 91 箇所				
(4) 医療・看護・介護に関するビデオ・DVD の貸出（館内・館外）				
利用件数 年 23 件				
(5) ナースセンターホームページ新規作成による広報の強化				
・求人・求職登録増にむけた内容修正				
・WEB 広告の活用による情報発信				
5) 関係機関との連携・会議				

事業実施内容				
(1) 中央・都道府県ナースセンターとの連携				
通年/随時				
(2) 社会福祉協議会福祉人材センターとの連携				
・福祉施設等就職相談会等への協力・後援				
福祉施設等就職相談会への派遣及び登録求職者への研修案内配布協力				
(3) 会 議				
・看護職員確保対策連絡協議会				
年 1 回				
・ナースセンター事業運営会議				
年 1 回				
・ナースセンター連絡会議				
年 2 回				
・都道府県ナースセンター事業担当者会議				
年 1 回				
・都道府県ナースセンター相談員研修				
年 1 回				
・都道府県ナースセンター地区別意見交換会				
年 1 回				
6) 看護職員の定着を図るための相談事業				
就業者の就業相談の実施				
相談内容の分類と分析/通年				
7) 未就業看護師等への「復職支援研修」事業				
年 6 回 受講者 264 名 就業者数 43 名				
2 看護に関する普及啓発事業の充実				
1) 進路相談事業				
通年 相談件数 68 件/年 案内期間：5 月 1 日～8 月 31 日				
2) 看護フェスティバル開催への協働				
看護フェスティバルでの相談 68 件				
3) 看護の仕事の普及啓発				
若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発				
「やさしさがキャリアになる」リーフレット配布				

VI 会員に対する支援事業（定款第4条第2項第1号 収益事業）

事業実施内容				
1 会員に対する情報提供等事業				
1) 職能委員会における情報提供等				
【職能委員会活動報告参照】				
2) 支部における情報提供等				
【支部活動報告参照】				
2 会員に対する福利厚生事業				
1) 「看護職賠償責任保険制度」の加入推進				
加入者数 8,177 名				
2) 会員の進学支援				
大学等への進学の推薦				
3) 表彰				
4) 神奈川県看護協会指定店事業				
指定店 約 300 店舗				
5) 会員の慶弔等への対応				
弔慰金支給 11 件				
6) 会員相互の親睦を深める機会の充実				
・会員交流会				
平成 30 年 8 月 4 日（土） 参加者 81 名 K A A T 神奈川芸術劇場他				
対象 60 歳以上の会員（平成 31 年 3 月末現在）				
・新春のつどい				
平成 31 年 1 月 24 日（木） 横浜ロイヤルパークホテル				
参加者 360 名				
7) お年玉プレゼント（広報出版委員会）				
当選者 46 名				
8) 会員サポート事業				
3 会員に対する研修支援事業				

事業実施内容
1) 看護管理者に対する研修支援 管理者に求められるメンタルヘルスケア 年1回 受講者 99 名
2) 看護管理者及びスペシャリストのための学習支援 (1) 認定看護管理者教育課程事業 ・認定看護管理者教育運営会議の開催 定例会年3回 ・ファーストレベル 研修期間 平成30年4月26日～9月7日 受講者 74 名 ・セカンドレベル 研修期間 平成30年10月4日～平成31年3月1日 受講者 39 名 ・セカンドレベル修了者交流研修 年1回 受講者 51 名 ・緩和ケア認定看護師フォローアップ研修 年2回 受講者延 168 名 (2) 看護管理者研修事業 ・看護管理Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ研修 年5回 延8日 受講者延 404 名 ・看護補助者活用推進研修 年2回 受講者 185 名 ・医療安全管理者養成研修 年1回 7日 受講者 84 名 ・重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修（衛星通信配信） 年2回 受講者 246 名

VII 法人の管理に関する事業（定款第4条第2項第2号 法人管理事業）

事業実施内容
1 職能団体としての組織・運営強化 1) 諸会議の開催 (1) 通常総会 平成30年6月22日（金） (2) 理事会 定例理事会 5回、臨時理事会 1回 (3) 事業説明会 年1回 (4) 財政会議 定例会年1回 (5) 新聞への広告掲載 年2回 2) 日本看護協会との連携 (1) 通常総会への参加 平成30年6月12日（火） 開催地 神奈川県 パシフィコ横浜 (2) 全国職能別交流集会への参加 平成30年6月13日（水） 開催地 神奈川県 パシフィコ横浜 (3) 地区別法人会員会（関東甲信地区）の開催 平成30年10月25日（木） 開催地 神奈川県 グランドインターコンチネンタルホテル (4) 関東甲信地区支部役員等研修会への参加 平成30年10月26日（金） 開催地 神奈川県 グランドインターコンチネンタルホテル 3) 公益法人に関する業務等 ホームページ、KANAGAWA 看護だより等の活用 4) 事務局機能の整備・充実 (1) 事務局情報通信システムの運用・管理 (2) 役職員の資質向上のための研修及び学会参加 事務局・訪問看護ステーション研修 年各1回、 学会参加 年6回

事業実施内容
5) 委員会 (1) 推薦委員会の開催 定例会年4回 (2) 会員委員会の開催 定例会年8回、日本看護協会見学1回 (3) 看護研究倫理審査会 年1回 2 政策提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進 (1) 神奈川県・県議会への要望活動 年1回 (2) 神奈川県との連携 (3) 県内医療関係団体等との連携・交流の推進

貸借対照表

2019年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	695,941,595	616,982,108	78,959,487
未収金	76,053,342	79,752,812	△ 3,699,470
前払金	4,848,978	5,583,354	△ 734,376
立替金	272,418	280,916	△ 8,498
仮払金	0	158,000	△ 158,000
流動資産合計	777,116,333	702,757,190	74,359,143
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	102,800,773	102,800,773	0
建物	420,128,956	433,022,212	△ 12,893,256
基本財産合計	522,929,729	535,822,985	△ 12,893,256
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	5,347,400	2,695,200	2,652,200
退職給付引当資産	76,695,207	78,970,915	△ 2,275,708
資産取得積立資産	712,265,928	687,224,452	25,041,476
建物建替積立資産	270,096,948	257,836,203	12,260,745
特定資産合計	1,064,405,483	1,026,726,770	37,678,713
(3) その他固定資産			
車両運搬具	4	4	0
什器備品	577,447	835,584	△ 258,137
敷金	700,000	22,684,000	△ 21,984,000
保証金	6,092,702	6,102,702	△ 10,000
その他固定資産合計	7,370,153	29,622,290	△ 22,252,137
固定資産合計	1,594,705,365	1,592,172,045	2,533,320
資産合計	2,371,821,698	2,294,929,235	76,892,463
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	22,675,376	23,968,134	△ 1,292,758
前受金	207,677,000	181,344,800	26,332,200
預り金	12,992,133	21,001,758	△ 8,009,625
役員賞与引当金	1,190,000	1,219,000	△ 29,000
賞与引当金	10,897,000	11,573,000	△ 676,000
流動負債合計	255,431,509	239,106,692	16,324,817
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	5,347,400	2,695,200	2,652,200
退職給付引当金	76,695,207	78,970,915	△ 2,275,708
固定負債合計	82,042,607	81,666,115	376,492
負債合計	337,474,116	320,772,807	16,701,309
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	2,034,347,582	1,974,156,428	60,191,154
(うち特定資産への充当額)	522,929,729	535,822,985	△ 12,893,256
	931,933,932	906,892,456	25,041,476
正味財産合計	2,034,347,582	1,974,156,428	60,191,154
負債及び正味財産合計	2,371,821,698	2,294,929,235	76,892,463

正味財産増減計算書

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	123,434	1,211,302	△ 1,087,868
特定資産受取利息	123,434	1,211,302	△ 1,087,868
受取入会金	65,780,000	72,746,000	△ 6,966,000
受取入会金	65,780,000	72,746,000	△ 6,966,000
受取年会費	221,862,000	213,582,000	8,280,000
受取会費	221,862,000	213,582,000	8,280,000
事業収益	433,368,041	423,958,781	9,409,260
受講料等収益	51,845,318	71,675,776	△ 19,830,458
受託事業資料代収益	3,997,500	5,161,500	△ 1,164,000
参加費収益	5,687,000	6,191,000	△ 504,000
訪問看護事業収益	359,458,654	329,310,266	30,148,388
療養費収益	125,704,767	120,100,581	5,604,186
介護保険収益	229,029,079	203,978,272	25,050,807
その他利用収益	4,724,808	5,231,413	△ 506,605
居宅介護支援事業収益	12,379,569	11,620,239	759,330
受取補助金等	104,039,382	118,184,268	△ 14,144,886
受取神奈川県補助金等収益	82,892,924	97,521,830	△ 14,628,906
ナースセンター事業受託収入	55,936,000	48,188,000	7,748,000
看護研修事業受託収入	943,000	604,000	339,000
訪問看護導入研修受託収入	1,380,000	1,380,000	0
訪問看護ステーション・医療機関相互研修受託収入	1,402,999	1,402,999	0
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	841,000	841,000	0
新人看護職員研修体制整備事業受託収入	0	4,278,085	△ 4,278,085
潜在看護職員活用推進事業受託収入	0	5,040,000	△ 5,040,000
介護施設等看護実務者研修事業受託収入	1,531,000	1,531,000	0
緩和ケア認定看護師養成事業受託収入	0	2,209,000	△ 2,209,000
看護実践教育アドバイザー事業受託収入	18,187,925	25,902,127	△ 7,714,202
看護師管理能力養成研修事業受託収入	735,000	735,000	0
重度重複障害者等支援看護師養成研修事業受託収入	690,000	689,619	381
訪問看護ステーション教育支援事業受託収入	0	4,721,000	△ 4,721,000
訪問看護ステーション教育支援事業受取補助金	1,200,000	0	1,200,000
新人看護職員研修事業受取補助金	46,000	0	46,000
受取横浜市補助金等収益	2,942,000	2,942,000	0
訪問看護師研修会事業受託収入	1,100,000	1,100,000	0
小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会事業受託収入	1,554,000	1,554,000	0
災害支援ナース研修事業受託収入	288,000	288,000	0
受取川崎市補助金等収益	556,000	556,000	0
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	556,000	556,000	0
受取相模原市補助金等収益	1,041,258	1,033,038	8,220
ナースセンター事業受取補助金	1,041,258	1,033,038	8,220
受取日本看護協会補助金等収益	15,635,200	15,159,400	475,800
教育事業及び看護の普及啓発事業助成金	10,097,320	10,105,790	△ 8,470
会員登録事務業務受託収益	5,037,880	5,053,610	△ 15,730
看護政策推進のための組織強化事業受託収益	500,000	0	500,000
受取団体助成金等収益	972,000	972,000	0
団体助成金収入	972,000	972,000	0
受取寄付金	4,640,000	4,460,000	180,000
受取寄付金	1,010,000	1,010,000	0
協賛金収益	3,630,000	3,450,000	180,000
かながわ看護フェスティバル	3,630,000	3,450,000	180,000
雑収益	1,613,789	2,261,690	△ 647,901
受取利息	34,994	34,710	284
その他の雑収益	1,578,795	2,226,980	△ 648,185
経常収益計	831,426,646	836,404,041	△ 4,977,395
(2) 経常費用			
事業費	732,903,429	748,713,965	△ 15,810,536
役員報酬	23,141,013	21,548,099	1,592,914
給料手当	403,733,006	390,936,388	12,796,618
臨時雇賃金	7,163,304	14,926,724	△ 7,763,420
役員賞与引当金繰入額	906,000	885,000	21,000
賞与引当金繰入額	10,229,000	10,918,000	△ 689,000
役員退職慰労引当金繰入額	2,389,028	87,557	2,301,471
退職給付費用	10,762,173	10,586,179	175,994
法定福利費	60,019,203	59,133,964	885,239

科 目	当年度	前年度	増 減
福利厚生費	7,302,694	6,969,886	332,808
会議費	652,121	732,207	△ 80,086
旅費交通費	7,835,494	8,553,948	△ 718,454
広告宣伝費	442,800	1,978,980	△ 1,536,180
通信運搬費	12,251,908	10,731,514	1,520,394
減価償却費	11,385,814	11,308,328	77,486
消耗什器備品費	2,102,117	5,784,481	△ 3,682,364
消耗品費	13,526,286	18,036,747	△ 4,510,461
修繕費	731,692	280,510	451,182
印刷製本費	20,961,946	23,376,873	△ 2,414,927
燃料費	1,669,110	1,556,130	112,980
光熱水料費	2,291,934	2,954,917	△ 662,983
賃借料	37,656,528	48,975,980	△ 11,319,452
支払リース料	20,438,746	19,510,934	927,812
保険料	2,927,162	2,707,390	219,772
諸謝金	24,619,628	34,868,452	△ 10,248,824
租税公課	6,926,029	7,989,632	△ 1,063,603
支払手数料	1,464,248	1,339,973	124,275
支払負担金	14,291,807	13,995,372	296,435
支払寄付金	73,292	0	73,292
委託費	24,749,308	17,677,135	7,072,173
雑費	260,038	362,665	△ 102,627
管理費	38,332,062	61,214,243	△ 22,882,181
役員報酬	5,014,118	7,801,943	△ 2,787,825
給料手当	6,170,375	18,039,571	△ 11,869,196
役員賞与引当金繰入額	284,000	334,000	△ 50,000
賞与引当金繰入額	668,000	655,000	13,000
役員退職慰労引当金繰入額	263,172	43	263,129
退職給付費用	68,262	68,195	67
法定福利費	2,804,193	4,668,189	△ 1,863,996
福利厚生費	2,517,612	2,488,990	28,622
会議費	239,063	186,842	52,221
旅費交通費	1,034,180	1,325,290	△ 291,110
広告宣伝費	108,000	108,000	0
通信運搬費	1,750,714	3,625,912	△ 1,875,198
減価償却費	1,765,578	1,765,578	0
消耗什器備品費	377,555	374,328	3,227
消耗品費	622,957	1,260,317	△ 637,360
修繕費	0	22,237	△ 22,237
印刷製本費	2,176,898	2,475,015	△ 298,117
賃借料	85,860	64,800	21,060
支払リース料	399,761	1,908,752	△ 1,508,991
保険料	251,320	79,120	172,200
諸謝金	1,650,200	1,580,277	69,923
渉外費	34,020	30,000	4,020
租税公課	3,658,848	2,300,177	1,358,671
支払手数料	816,436	858,193	△ 41,757
支払負担金	3,072,755	5,365,723	△ 2,292,968
支払助成金	105,000	155,000	△ 50,000
委託費	2,197,947	3,476,377	△ 1,278,430
雑費	195,238	196,374	△ 1,136
経常費用計	771,235,491	809,928,208	△ 38,692,717
評価損益等調整前当期経常増減額	60,191,155	26,475,833	33,715,322
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	60,191,155	26,475,833	33,715,322
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	2,950,452	△ 2,950,451
経常外費用計	1	2,950,452	△ 2,950,451
当期経常外増減額	△ 1	△ 2,950,452	2,950,451
当期一般正味財産増減額	60,191,154	23,525,381	36,665,773
一般正味財産期首残高	1,974,156,428	1,950,631,047	23,525,381
一般正味財産期末残高	2,034,347,582	1,974,156,428	60,191,154
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,034,347,582	1,974,156,428	60,191,154

財産目録

2019年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	901,605
	普通預金			389,326,729
	共通・新会費横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	74,962,003
	公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	32,758,408
	公益・受講料	横浜銀行関内支店	運転資金として	1,966,530
	公益・三井住友	三井住友銀行横浜中央支店	運転資金として	34,837
	公益・横浜フェスティバル	横浜銀行県庁支店	運転資金として	510,000
	収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	39,682,087
	収益・三菱東京	三菱東京ＵＦＪ銀行横浜中央支店	運転資金として	10,045,358
	収益・ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行	運転資金として	6,440,000
	法人・横浜関内	横浜銀行関内支店	運転資金として	142,288,881
	法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店	運転資金として	590,843
	かがやきＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	29,140,118
	かがやき小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	798,017
	かがやき居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	4,106,346
	あかしあＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	16,117,815
	あかしあ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	552,921
	おおいそＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	8,587,667
	おおいそ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	740,415
	おおいそ居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	6,092,258
	洋光台ＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	13,467,956
	洋光台小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	444,269
	定期預金			305,713,261
	公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	91,912,121
	収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	26,099,740
	収益・三菱東京	三菱東京ＵＦＪ銀行横浜中央支店	運転資金として	50,681,685
	法人・横浜関内	横浜銀行関内支店	運転資金として	122,867,569
	法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店	運転資金として	14,152,146
	未収金		訪問看護療養費、県・市受託金等	76,053,342
	前払金		家賃、駐車場代、会場予約金等	4,848,978
	立替金		日本看護協会会議交通費等	272,418
流動資産合計				777,116,333
(固定資産)	基本財産			
	土地	横浜市中区富士見町3番地1		102,800,773
		(地積246.57㎡)		
		(地積158.29㎡)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (70,110,127円)	
		(地積52.77㎡)	収益事業等の用に供している (17,887,334円)	
		(地積35.51㎡)	管理運営の用に供している (14,803,312円)	
	建物			420,128,956
	建物(一般)	神奈川県総合医療会館 (5階の一部及び6階)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (264,862,542円) 収益事業等の用に供している (88,287,514円) 管理運営の用に供している (59,408,420円)	412,558,476
	建物附属設備		公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	6,143,348
	造作	清康社ビル研修室		5,584,784
		洋光台訪問看護ステーション		558,564
		洋光台訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	1,427,132
	特定資産			
役員退職慰労引当資産	横浜銀行県庁支店	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,347,400	
退職給付引当資産		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	76,695,207	
	神奈川県債		50,000,000	
	横浜銀行県庁支店		26,695,207	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
その他固定資産	資産取得積立資産		研修センター取得に備えたもの (公益目的資産取得資金)	712,265,928
	建物建替積立資産	神奈川県債 横浜銀行県庁支店		530,000,000 182,265,928
			総合医療会館建替えに備えたもの	270,096,948
		神奈川県債		170,000,000
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (109,140,000円) 収益事業等の用に供している (36,380,000円) 管理運営の用に供している (24,480,000円)	100,096,948
	車両運搬具	横浜銀行県庁支店		
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (64,663,443円) 収益事業等の用に供している (21,180,310円) 管理運営の用に供している (14,253,195円)	
	什器備品	訪問看護ステーション、 事務所付帯設備一式	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (573,434円) 管理運営の用に供している (4,013円)	577,447
敷金	敷金	訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	700,000
	保証金	清康社ビル、 訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	6,092,702
固定資産合計				1,594,705,365
資産合計				2,371,821,698
(流動負債)				
未払金	未払金		公益目的事業会計 収益事業等会計 法人会計	22,675,376
	前受金			
		次年度会費	2019年度会費	207,677,000
	次年度協賛金			
		2019年度フェスティバル協賛金	公益目的事業及び管理運営の支出に供する会費の前受	200,842,000
	その他			
		2019年度ファーストレベル受講料	公益目的事業に計上する協賛金の前受 収益事業等に計上する受講料の前受	510,000 6,325,000
	預り金			12,992,133
	健康保険料	2019年3月分		3,773,577
	厚生年金保険料	〃		6,107,808
	源泉所得税	〃		918,998
	市・県民税	〃		1,492,600
	会費	返金用		429,000
	認定看護管理	実践報告集印刷代		87,750
	報償費等所得税	2019年3月講師報償税		54,820
	交通費日当	日本看護協会会議交通費等		1,580
	その他	返金受講料		126,000
	役員賞与引当金			1,190,000
	事業費	2018年度負担額		906,000
	管理費	〃		284,000
賞与引当金	賞与引当金			10,897,000
	事業費	2018年度負担額		10,229,000
	管理費	〃		668,000
流動負債合計				255,431,509
(固定負債)				
	役員退職慰労引当金	期末退職給付要支給額		5,347,400
	退職給付引当金	〃		76,695,207
固定負債合計				82,042,607
負債合計				337,474,116
正味財産				2,034,347,582



こんにちは**事務局**です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

訪問看護入門研修

訪問看護に興味のある看護職を対象に、講義や実習を通して訪問看護の基礎を学びます。

①日 程／10月31日・11月1日

締 切／9月26日必着

会 場／県ナースセンター研修室

②日 程／11月20日・21日

締 切／10月16日必着

会 場／県ナースセンター研修室

実習地域／県内の訪問看護ステーション

定 員／各回30名

受 講 料／無料

問 合 せ／地域看護課 ☎045-263-2933

助産師職能委員会研修会①

日 時／10月18日(金) 13:30～16:30

場 所／神奈川県総合医療会館 7階 講堂

内 容／「CTG 判読 / 母体感染」(仮)

講 師／神奈川県立こども医療センター
産婦人科 部長 石川 浩史

対 象／看護師

参 加 費／1,000円(会員:無料)

助産師職能委員会研修会②

日 時／11月22日(金) 13:30～16:30

場 所／神奈川県看護協会 第1研修室

内 容／「妊娠期からの体づくり」(仮)

講 師／ウバウパハウス岡本助産院
院長 岡本 登美子

対 象／看護師

参 加 費／1,000円(会員:無料)

問 合 せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

表紙の
写真



「チームで地域の 急性期医療を支えます」

——厚木市立病院(厚木市)

当院は、昭和26年に神奈川県立厚木病院として発足し、平成15年に神奈川県より移譲を受け厚木市立病院として再出発しました。その後5年10ヵ月かけて建て替え工事を行い、平成29年12月に新病院がグランドオープンしました。

厚木市を中心とした県央地区の公立基幹病院として、専門性を活かした急性期医療を充実させるとともに、多職種と協力し合い、チーム医療の力で患者さんやご家族を支え、地域へと繋いでいます。

看護師は患者さんに一番近い存在として、看護部理念の「愛・安全・患者が主役の看護」を基に患者さんに安全な療養環境を提供するとともに、患者さんの気持ちを考えた丁寧で優しいケアの提供を心がけています。

副院長兼看護部長 鷲塚 明子

令和元(2019)年度 入会・継続手続き受付中!

■変更手続きについて

所属施設・自宅住所等の変更がある方は必ず県協会までご連絡ください。変更の届がない場合は、次年度の継続のお知らせが届かない場合がございます。

■コンビニ・銀行の払込用紙をお持ちの方

早急にご納入ください。用紙を紛失された方は県協会までご連絡ください。

■納入方法の変更について

令和2(2020)年度分より会費納入方法の変更をする場合は、早急に県協会までご連絡ください。また、現在の納入方法から口座振替に変更される方は手続き完了までは1か月以上かかりますので、余裕をもって手続きください。

■キャリアースについて

研修受講履歴の管理ができるようになりました。会員情報の確認・変更もできますので、ぜひ登録ください。その他ご不明点等ございましたら、下記問合せまでご連絡をお願いいたします。

問 合 せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

— 広報出版委員会より —

「看護だより」掲載記事募集!!

1表紙の掲載写真

・ご自分の施設や職員の写真を掲載してみませんか?

2ヒーリングタイム

・癒し、ストレス解消法、ペット自慢等お聞かせください。

3お気に入りスポット

・県内のお気に入りの場所を紹介してください。

問合せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

「看護だより」テーマ募集!!

●「健康ひろば」や「特集」などで扱って欲しいテーマを募集します!

●また、「こんなコーナーがあったらいいな」などのご希望がありましたら、お聞かせください。

●その他のご意見、ご要望も受付いたします。また、感想などをお聞かせいただけるのも嬉しいです。

ご意見・ご要望の送付先

メー ル: kouhou@kana-kango.or.jp

郵 送: 〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1

神奈川県看護協会 広報出版委員会 宛

※ご所属先 お名前をご明記ください

★広報出版委員会では会員と共に作る広報誌を目指しています。皆様のご投稿、お声をお待ちしております。

編 集 後 記

年々夏の暑さが厳しく、残暑も長くなっていると感じているのは私だけではないと思います。暑さ対策だけでなく、適度な休息をとり、心身をリフレッシュさせ、体調を整えましょう。

(T.O)